

進路だより

2022年 第4号
12月19日(月)
金沢伏見高校 進路指導課

2学期の期末考査が終了し、2022年も残すところ2週間ほどとなりました。どのような1年でしたか。3年生は、推薦入試はほぼ終了し、これからは一般受験に向けて取り組む時期になりました。大学入学共通テストまで残り1か月、今後は共通テスト対策の時間が増えていきます。できなかった問題を一つずつ解決し、本番に臨みましょう。1、2年生は3学期に向けて、これから冬休みをどう過ごすかが重要となります。苦手な教科や分野の克服にも、思い切ってじっくりと時間をかけて取り組みましょう。

3学期のスタートは1月10日(火)となります。生徒の皆さんが、各家庭での自律した生活を送り、新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと行いながら、有意義な時間を過ごしてほしいと願っています。

★苦手科目・分野に取り組む★

模試や定期試験を通して、苦手科目・分野は把握できていると思います。冬休みの課題に取り組みながら、問題集を利用し、**集中して苦手科目・分野に向き合ってください**。まだまだ伸びる余地が残っています。時間は限られています。学習計画をしっかりと立て、「できる」ことを増やしていきましょう。

★模試ノートの復習★

模試の復習はできていますか？大学入学共通テストや大学入試では、今までどこかで出会った問題と似た問題が出題されます。どれだけの演習を経験してきたかが重要となります。そこで、『模試ノート』を作ることをお勧めします。単に、正解を書き写すだけではいけません。**自分の考え方の、どこをどのように修正すれば正解にたどりつけるのか**を考える事が一番大切です。「なぜ間違えたのか」「次に同じ失敗をしないために、何に気を付ければよいのか」をコメントとして残しておくといよいでしょう。また、皆さんが使い込んだノートは学習面だけでなく精神面でも心の支え・お守りの存在となってくれることでしょう。

★生活リズムを整える★

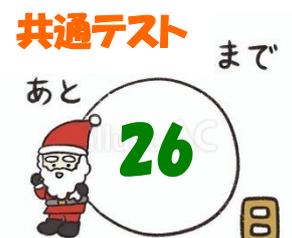
夜遅くまで起きている習慣が身につけてしまっている人が多いと思いますが、**人間の脳は、起床してから3時間以上たたないとしっかりと働かないとも言われます**。特に3年生は、実際の入試に向けて、冬休みのうちから、試験開始の時間から逆算して早起きする習慣をつけておきましょう。風邪を引きやすい季節です。1、2年生も、健康管理のためにも、睡眠時間が十分に必要ですので、まずは冬休み中も学校生活と同じように、早く起きる習慣を維持しましょう。

<<大学入学共通テストについて>>

2023年度大学入学共通テストは、2023年1月14日と15日の2日間、追試験および再試験は1月28日と29日に行われます。志願者数は前年比3.4%減の51万2,581人です。過去最多となる870大学が利用します。

当日の試験教科です。 第1日目： 地理歴史公民 国語 外国語
第2日目： 理科① 数学① 数学② 理科②

このひと月で **どれだけのことができるか、それは自分次第です**。最後は誰も頼ることはできません。自らを救うのは、他でもない、懸命に努力してきた自分自身です。「人事を尽くし、天命を待つ」そのような心境で共通テストの日を迎えられるよう、最後まで先生方もサポートしていきます。**一人ひとりが体調管理を万全に！悔いのない受験となるよう、心から願っています。**



<<県内の国公立大学・私立大学紹介>>

第3回 <石川県立大学>
<金沢学院大学>

県内の国公立大学、私立大学を随時、紹介していきます。

<石川県立大学>

野々市市末松に本部を置く、2005年に設置された日本の公立大学。1971年に開学した石川県農業短期大学を前身とする。生物資源環境学部の下に、3学科が設置。

●コース制について：カリキュラムの見直しを行い、令和3年度からは、即戦力となる専門性を身に付けるコース制が本格的にスタート。希望する進路に合ったコースを選択することで、必要な知識を体系的かつ効果的に学ぶことができる。

「1学部 3学科 7コース」・入学試験は学科ごとに実施。

・コース選択は2年時に希望を確認、3年進級時にコースを決定

☆生産科学科 3コース：生産学科コース、生産環境制御コース、先端バイオコース

☆環境科学科 2コース：環境科学コース、里山活性化コース

☆食品化学科 2コース：食品科学コース、6次産業化コース

●学生数 (R4.5.1 現在)：生産科学科 176(98)、環境科学科 191(76)、食品科学科 185(129) () 内は女子数

●特色ある取り組み：『石川県立大学×SDGs』 大学で行われているさまざまな研究や取り組みは、SDGsの目標とつながっている。2つの研究を紹介。

「生産科学科：環境の変化に適応する品種の開発」イネの県産品種などを用いた、収穫量や品質を左右する性質の制御に関する研究。



「食品科学科：伝統発酵食品の化学特性と機能性」県内の伝統の発酵食品の化学特性や発酵に関与する微生物の機能性を解明する研究。



<金沢学院大学>

金沢市末町に本部を置く私立大学。7学部 8学科・大学院 3研究科 3専攻・1専攻科 2専攻を設置する、日本海側の私立大学で最大規模の総合大学。

1946年に、金沢女子専門学園が創立し、1987年に金沢女子大学（文学部だけの単科大学）として開学。1995年に金沢学院大学に改称するとともに経営情報学部を増設し、男女共学化。

●学生数 (R4.5.1 現在)：約 3354 人で、最も多い学部は文学部 (759 名)

●学部学科：文学部 文学科 (金沢学院のルーツとも言え、70年以上の伝統がある。北陸の私立大学としては最多クラスの 200 名を超える教員を輩出)

教育学部 教育学科 (全国に先駆けて「小学校英語教育」を重視した人材育成に力をいれている。)

経済学部 経済学科、経営学科 (地域をフィールドとするゼミ活動を2年間にわたって長期・継続的に実施)

経済情報学部 経済情報学科 (社会にあふれるデータを活用できる人材を育成。文理問わずスタート可能)

芸術学部 芸術学科 (5つの分野の知識と技術を柔軟に習得した上で、実践的な学びでクリエイターを育成。教員や、特定の分野を究めて作家やクリエイター等、就職率は100%となっている。)

スポーツ科学科 スポーツ学科 (2021年に開設。1年次から4専攻に分かれ、専攻を意識した基礎的な各知識と技術を習得し、域社会やスポーツ業界に貢献できる人材を育成。)

栄養学部 栄養学科 (2021年に開設。石川県内初の管理栄養士養成課程。県内の多くの自治体と連携協定を結び、教員と学生と一緒に事業に参加可能。)

★金沢学院大学には、手厚い就職支援や資格サポートが充実しているので、努力次第で成長できる環境が整っている。また、有名アスリートを多く輩出しているため、スポーツに打ち込みたい学生にもおすすめ。多目的グランドやパソコンルームなどの施設も充実。



▲ウエイトリフティング練習場 (国内トップレベル)



▲図書館/ラーニング・commons



▲講堂 (1階・2階合わせて約500席を設置)



▲カフェテリア